

地域・校区の概要（令和5年度）

（1）天草市五和町の概況

昭和30年5月1日、「和をもって貴しとなす」の精神が古くから根付き、御領・鬼池・二江・手野・城河原の5ヶ町村が合併し、五和町として発足した。本町は、熊本県の南西部、天草下島の北東部に位置し、東は有明海をはさんで九州本土に接し、西は苓北町と隣接、北は早崎瀬戸を隔てて長崎島原半島と相對している。

平成18年3月27日、平成の大合併により2市8町が合併し、天草市となったが、町は雲仙阿蘇並びに霧島国立公園を結ぶ観光ルートとして、また天草空港の所在地として重要性が高まっている。

御領地区は国道に面し、天草市五和支所、五和町コミュニティセンター、五和町給食センター、御領駐在所などがあり、公的な要衝に位置している。鬼池、二江地区は、イルカウォッチングや漁業が盛んで、手野、城河原地区は、水田、畑からなる自然に恵まれた農村地帯である。近年、高齢化が加速し65歳以上の占める割合も半数近くになっている。

○面積：50.08km²

○人口：7,058人（男：3,320人、女：3,738人）

○世帯数：3,398世帯

（令和5年4月30日現在）

（2）校区の概要

学校規模適正化の動きにより、平成24年度に御領小学校と鬼池小学校が統合して、御領鬼池小学校となった。また、同じくして五和東中学校も五和西中学校と統合して五和中学校になった。さらに平成26年度からは、御領鬼池小学校、城河原小学校、手野小学校、二江小学校の4校が統合して五和小学校が開校し、五和町は1小学校1中学校になった。

本校は、児童数259名（男子144名、女子115名）14学級の編制（通常学級11学級、特別支援学級3学級：情緒障害1、知的障害1、病気虚弱1）である。統合時に比べると、児童数は減少の傾向にある。

五和小中学校は、天草市で初の校舎併設（2階図書室で繋がっている構造）の小中連携推進校である。旧小学校5校区（統合時は4校区）が統合したため、校区は拡大し、通学バスの運行を行っている。校区が広いため、通学バスは7台運行している。鬼池地区の児童は、引坂地区を除き全員徒歩通学であるが、国道266号線は車輛の通行量も多く、各地区の主要交差点では保護者、地域の方が交通指導に当たっている。通学バス通学、徒歩通学共に家庭、地域と連携を密にした安全指導を心がけている。

保護者や地域住民の学校に寄せる期待は大きい。地域ぐるみで子どもを育もうという風土があり、地域の環境整備や子どもの安全確保に熱心な取組が行われている。学校教育に大変協力的である。